

としよ
図書だより がつ
9月
あかさかしょうがっこう
赤阪小学校



令和5年8月30日

楽しかった夏休みが終わりました。すこし会わないうちにみなさんは成長したように見えます。何かに挑戦したり、どこかに出かけたり、誰かに会ったり、たくさんの思い出をつくりたりして充実した日を過ごしたのでしょうか。もうあと1週間休みがほしいなど思うのは私だけでしょうか？ステキな本に出合った人はぜひ教えてほしいです。暑い中運動会の練習に元気に励んでいる姿を見るとうらやましくなります。当日が楽しみです。

がんばったネ！読書感想文。

みなさんが書いた、本年度の読書感想文は、なぜこの本を読んだのか、登場する主人公や周りの人たちの気持ちになって考えた意見が多く書かれていて、素晴らしい作品ばかりでした。

つきみ
お月見

今年の十五夜(中秋の名月)は9月29日(金)です。大雨や台風がおさまって、すんだ空に最も明るく美しい月が見られます。日本には平安時代に中国から貴族の人たちに伝わりました。月をながめて和歌を詠む「観月のうたげ」を開いて楽しんでいました。一般の人がお月見を楽しむようになったのは江戸時代からだといわれています。月は昔から神様とあがめられていました。米や季節の農作物が無事に育ったことに感謝する収穫祭です。お供えのススキは悪い災いから守ってくれたり、団子は月の形だったり農作物は感謝をこめるものだったりするそうです。お月見の夜は、よその家のお供えしてある食べものは、勝手に食べていいといわれています。「神様がお供えを食べてくださっためでたいことだ」といって喜ばれたそうです。現代ではちょっと考えられませんね。

☆お月見クイズです。答えは図書室の先生に言いに来てください。

十五夜の月の形は？

- まん丸な満月である。
- 三日月である。
- 決まっていない。色々な形である。

「みつばち文庫」から、本をいただきました。

9月4日(月)から貸出しをします。



雷のあとに

主人公の睦子は、お母さんが「真面目ないい子」に育ててほしい願いが強いのが、重く感じている小5の女の子です。亡くなったハルおじさんの家で過ごすときが、気持ちが落ち着きます。

カラスだんなのはりがねごてん

カラスだんなのはりがねごてんを、若いカラスたちに見せると、ガラクタだと言われゴミにされてしまい、落ちこんでしまいます。でも、カンタのやさしい言葉にはげまされたカラスだんなは、あることを思いつきます。

ミツバチの本

近くでハチが飛んでいたなら、ブンブンうるさいなと思います。が、実は役立っているハチもたくさんいるんです。

ナナフシさん

「ナナフシさん」とよばれるおじいさんに、クワガタをつかまえてもらった由奈は、妹とまちがわれてしまいます。でもそれには理由があったんです。

しだれ桜のゴロスケ

読書感想画の課題図書にもなった本です。李乃は、引越した先の長野県でフクロウに出会います。亡くなったお母さんが、子どもの頃フクロウを観察していたことを聞かされた李乃は、弟の由宇とともに。ゴロスケと名づけられたフクロウを見守ります。

小さな蜂飼い姫のはなし

ある小さな国のお姫様が「ハチの巣箱」をはじめて見て「ハチのお城」と言って、飼いだめたミツバチが、小さな国に大きな変化をもたらします。

なるほど！くすりの原料としくみ

頭やお腹が痛い時、お医者さんに行った時にいただく薬はどんなもので、どのように作られているのかがわかります。

されどオオカミ

家庭で飼われている羊やニワトリが、オオカミに襲われる毎日。かしいオオカミのボスのタオはワナにもかからない。ゆうかんなバトル少年がタオと1対1で勝負に挑むモンゴルのお話です。